

大阪市立大学大学院創造都市研究科

共生社会創造領域 拡大研究会

児童虐待の詳細な理解のために

本企画は、児童虐待の要因、ダイナミズム、その結果もたらされる心理的な影響についての講演と、現場で知能研究を積み重ねた若手研究者の成果に対する批判的討論という二部構成です。

第1部では、児童虐待の臨床に関してきわめて深くかつ幅広い経験を蓄積し、現在日本子ども家庭総合研究所の家庭福祉部長として調査、研究、実践を展開しておられる山本恒雄氏に総論的な講義をいただきます。

第2部では、虐待児をはじめ知能に関して顕著な研究業績をもつ博士課程在学性の緒方康介氏が知的機能の回復に関する研究計画を示し、それについてどうすればそれがより実践的になるか、検討します。

日時 2012年8月18日(土曜日)、13時から17時まで
会場 大阪市立大学梅田サテライト108教室
大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階
(下の地図参照)
JR北新地駅真上、大阪駅徒歩5分、地下鉄西梅田駅徒歩3分

☆プログラム☆

第1部 13時-15時
児童虐待の現状とその防止に向けて 13時-14時半
日本子ども家庭総合研究所 家庭福祉部長:山本恒雄
質疑 14時半-15時

第2部 15時15分-17時
被虐待児の知的機能の特徴とその回復に向けて 15時15分-16時15分
指定討論 16時15分-16時45分
全体討論 16時45分-17時

共生社会研究分野と領域

2003年に大阪梅田で開校された社会人向けの大学院、大阪市立大学大学院創造都市研究科の一部です。修士課程のひとつのコースが都市共生社会研究分野で、「NPOをツールに共生社会の実現をめざす」人材の育成をミッションに掲げて、実践的な調査・研究・教育活動を実施しています。共生社会研究領域は、博士課程の一部です。

★お問い合わせ★

大阪市立大学大学院
創造都市研究科
都市共生社会研究分野 (修士課程)
共生社会創造領域 (博士課程)

☆電話 080-6107-9099
☆Email: info@co-existing.com
☆URL: <http://www.co-existing.com>
できるだけ、メールでお願いします。

